

□ 某大学での実施例

1. 実施者

株式会社動物疾病予防研究所 獣医博士 由地裕之

2. 供試方法

飼育頭数50頭の黒毛和牛の中から、長期不受胎の牛(空胎平均日数735日)に対し1日30g経口投与実験を行った。

3. 投与期間

平成27年9月10日から平成28年2月14日(158日データ)

各号	生年月日	最終分娩日	添加後の種付け	結果	最終分娩から種付けまでの日数
例1	H20.01.10	H27.01.30	H28.03.04	受胎(+)	399日
例2	H22.03.15	H26.06.30	H27.11.17	受胎(+)	506日
例3	H21.10.20	H25.10.24	H27.10.14 H27.12.09 H28.01.21	受胎(+) ※3回目にて	721日 (初回種付けまでの日数)
例4	H23.05.31	H26.02.27	H27.11.12 H27.12.25	受胎(+) ※2回目にて	624日 (初回種付けまでの日数)

4. 獣医博士 由地裕之のコメント

長期不受胎にもかかわらず例2の牛は投与から68日の授精で妊娠しました。投与開始の4頭の平均が120日で妊娠しました。これは長期不受胎の経過時間を考えると、カルシウム補給飼料の効果であることが認められました。